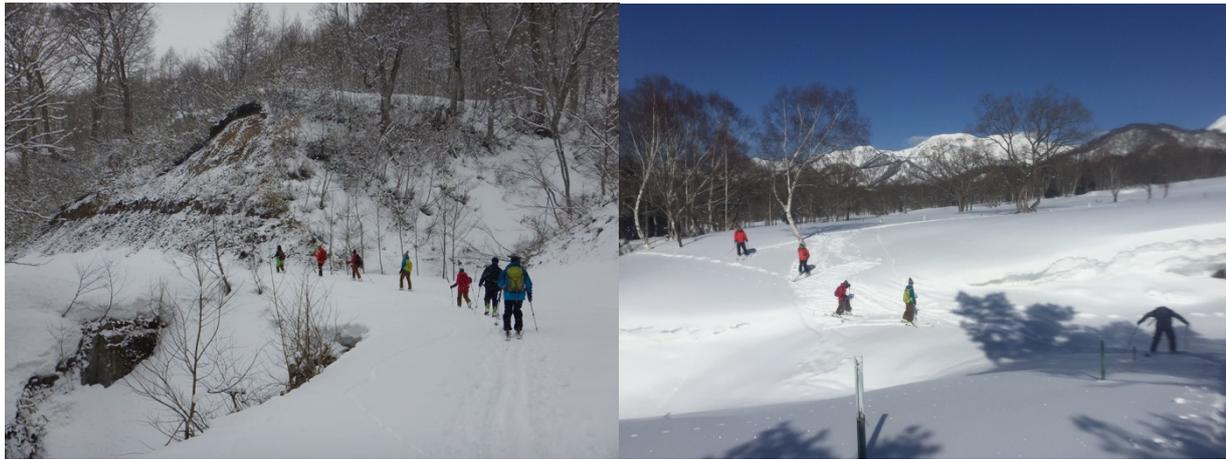


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 28 年 3 月 28 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・博士課程学生
氏名	田島夏子

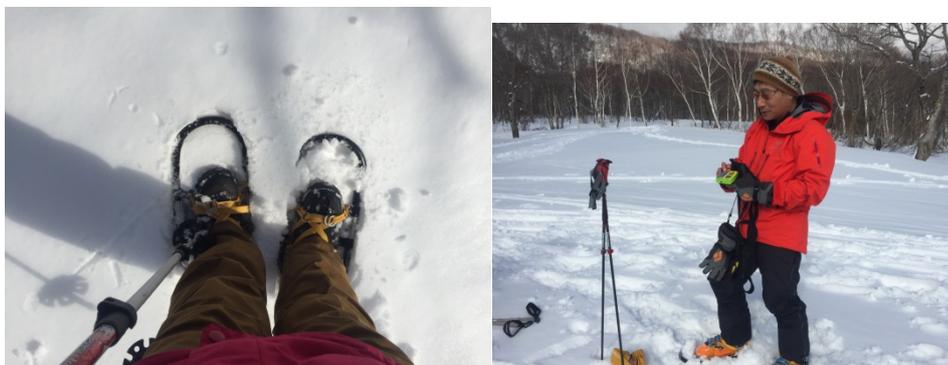
<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)
新潟県妙高市笹ヶ峰高原
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)
笹ヶ峰実習 (積雪期)
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)
平成 28 年 3 月 23 日 ~ 平成 28 年 3 月 27 日 (5 日間)
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京大笹ヶ峰ヒュッテ 杉山茂先生
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
本実習は、雪山でのスキーを使用した歩行や登山に慣れること、雪山の生物観察とサバイバル技術を学ぶことを目標とした。 日程は、以下の様であった。
3/23 笹ヶ峰ヒュッテ着 スキー用品準備 3/24 スキーにて歩行練習・滑走練習 3/25 スキーにて歩行練習・滑走練習 3/26 スキーにて滑走練習・ワカンにて歩行練習 3/27 ヒュッテ清掃 帰京
一日目は、電車で妙高高原駅まで、その後バスで除雪が完了している杉の沢上駅まで移動した後、除雪車に乗って京大ヒュッテまで移動した。除雪車に乗るのは初めてだったため、とてもよい経験となった。バスに乗っている時は、雪があまりなかったのも、除雪車に乗るほどの降雪があるのか半信半疑であったが、バス終着駅以降の山にはかなりの雪が積もっており、除雪車のありがたみを痛感した。 ヒュッテ到着後は、スキー用品の準備をした。シールの装着や、山スキーの取り扱いは初めてであったため、色々説明を受けて各装備の機能を理解した。
二日目はスキーを装着し、ヒュッテ周辺を歩いて散策した。足を上げて一歩踏み出してしまいがちだが、スキーを持ち上げるとその上の雪の重さが足の負担につながるの、なるべく片足に体重を乗せて片足ずつ滑るように歩くことを教わった。最初はやはり足を持ち上げてしまいがちであったが、だんだん慣れてくると滑るように歩くコツをつかむことができ、速度も上がり疲労も少なく歩行することができるようになった。山スキーは初めての人がほとんどであったが、皆慣れてきて、最初は時間内に到達は無理であろうと思われた目標地まで歩いてしまった。ヒュッテに帰着後計算してみると、およそ 10Km も歩いていたら聞き驚いた。慣れてくると、滑ることができる分徒歩よりもスキーでの歩行の方が少し楽かもしれないと感じた。午後は少しスキーでの滑走練習をした。しかし、私の使用していたスキー板がしっかりワックスがけされておらず、雪が付いてしまいあまり滑ることができず、ワックスがけなどの機材メンテナンスの大切さを実感した。



スキーにて歩行中(撮影 滝澤玲子特定助教) スキーにてゆっくり滑走中

三日目は、再びスキーでの歩行練習を行った。除雪車にて移動した道を自力で歩くと、とても大変で車のありがたみを痛感した。また、前日に降った雪が15cmほど積もっていたため、先頭でのラッセルでとても体力を消耗した。皆で一列になり、交代してラッセルをして歩行すると、後ろで歩行している間とても楽であり、複数で行動するメリットを学んだ。午後はスキーでの滑走練習をした。前日よりも傾斜が急な斜面を下った。ワックスをつけていただいたスキーはよく滑ったが、スキー初心者の私は何回も転倒した。しかし、転倒時の立ち上がりの練習になったので、良い経験であった。

四日目は、ヒュッテ周辺のなだらかな斜面を滑り降りる練習をしつつ、生き物の足跡を追った。雪原に、キツネ、タヌキ、テン等の足跡があちこちについており、それぞれの足や歩き方の違いを見ることができた。また、キツネの姿も遠くに確認することができた。午後にはワカンを着用し、歩行練習を行った。スノーブーツに取り付けるだけで雪の上を楽に歩くことができた。また、斜面もしっかり蹴りこむことで、滑らず登ることができ、スキーとはまた違った装備を経験することができた。その後は、雪崩に巻き込まれて雪に埋もれた人を探すための「ビーコン」や、「ゾンデ」の使用法を学んだ。雪山の怖さを知ることができて良い経験となった。また、雪から水を作る体験もした。雪を温めて水を作り、お湯にしてラーメンを食べた。たき火を囲んで食べる雪水ラーメンは格別であった。



ワカンを着用

ビーコンの使い方のレクチャー

スキー場でのスキーとは全く異なる山スキーの体験は貴重な経験となった。今後も、機会があれば再び挑戦してみたいと思う。

## 「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

### 6. その他 (特記事項など)

京大ヒュッテでの生活やスキーの取り扱いから歩行、滑走のポイントまで、丁寧に教えていただいた杉山茂先生に感謝いたします。また、一緒にスキーをし、様々なことを教えていただいた松沢哲郎教授、幸島司郎教授にお礼申し上げます。ヒュッテでの生活面を楽しくサポートしていただいた滝澤玲子特定助教、秋山未来さん、ありがとうございました。最後に、この実習は PWS プログラムの支援により行われました。プログラム関係者の方に深く感謝いたします。